

事務事業マネジメントシート(令和 4年度実績と令和 5年度計画)

令和 6年 1月10日更新

事務事業名	消防協会参画事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連				
総合計画	政策	4	生活環境の健康	所属部	総務部	課長名	齋藤 和広
体系	施策	15	防災対策の推進	所属課	安全安心課	担当者名	宮尾 和樹
	施策の柱	48	災害予防対策	所属班	防災対策班	(内線)	1243
予算科目	会計一般	款 9	項 1	目 2	事業連番 10008	根拠法令	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 4年度で終了 <input type="checkbox"/> 4年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 16 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	<ul style="list-style-type: none"> 熊本県消防協会が行う消防殉職者慰霊祭、消防団長・消防協会支部長会議への参加 消防団員をサポートするため、日本消防協会が定める消防団福祉共済事業の受付、申請 優良消防団、消防功労者等の表彰申請が恒例の行事となり変化はみられない消防団員等の福利厚生及び消防技術の向上等、消防活動の強化を図り、消防思想の普及徹底を目的に組織された。
【業務の流れ】	各種研修、大会の申し込み、消防団への調整、支払い、優良消防団表彰申請、受領 負担金の支払い
【主な予算費目】	役務費(団員福祉共済掛金)、 負担金
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 4年度実績(4年度に行った主な活動)(DO)	県消防協会への負担金支出及び日本消防協会の共済制度加入により、本市消防団の円滑な活動と運営に取り組んだ。	5年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
		<ul style="list-style-type: none"> 消防団員福祉共済制度掛金の支払い 熊本県消防協会負担金の支払い 表彰申請の実施 消防慰霊祭および各種会議への参加
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 消防団員福祉共済制度掛金について団員数が減少したことによる役務費の減	予算の主な増減の理由
→ア:当協会主催行事参加数	回	
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	消防協会	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
		(単位) 消防団員数
		→ア: 人
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	目的に沿った活動ができる	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
		(単位) 福祉事業の利用者数
		→ア: 人
*③成果指標設定の理由と 5年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
成果指標設定理由: 消防団員が安心して目的に沿った活動ができるよう、協会が定めた団員用慰救済金及び福祉事業などの福利厚生の利用者数値を設定した。		全体計画
		~ 年度
		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	2年度実績(決算)	3年度実績(決算)	4年度目標(当初予算)	4年度実績(決算)	5年度目標(当初予算)	6年度予定	7年度見込	8年度見込
①活動指標	ア	回	1	1	3	3	3	0	0	0
	イ									
②対象指標	ア	人	717	696	720	655	720	720	720	0
	イ									
③成果指標	ア	人	1	8	5	7	5	5	5	0
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円	174	169	36	33	35		
		繰入金	千円							
	人件費	一般財源	千円	2,210	2,155	2,379	2,174	2,320	2,415	2,415
		(A)事業費計	千円	2,384	2,324	2,415	2,207	2,355	2,415	2,415
		(A)のうち指定経費	千円	234	233	248	247	248	248	248
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	1	1	1	0	1	1	1
延べ業務時間	時間	20	100	20	0	20	20	20		
(B)人件費計	千円	78	391	79	0	79	79	79		
トータルコスト(A)+(B)	千円	2,462	2,715	2,494	2,207	2,434	2,494	2,494		

事務事業名	消防協会参画事業	所属部	総務部	所属課	安全安心課
-------	----------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は4年度の事後評価、ただし複数年度事業は4年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 4年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 分団長以上の幹部会議、班長会議において共済事業の説明を行った。消防団活動以外での入院や手術等も対象となるため、団員の福利厚生向上に繋がっている。
	② 5年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 消防団幹部会議等でも福祉事業を周知しこの制度を利用する。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 当協会の弔慰金制度、福祉制度の後ろ盾により安心して消防団活動を行うことができる。制度の周知を行うことで、対象者には利用をしてもらえるようにする。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 類似事業なし
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 福祉共済加入金負担金は消防団員割等で平等に負担しているため、削減余地はない。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最低限の人員で事務を行っており、削減の余地はない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 対象は全消防団員であり、公平である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 消防団員の福利厚生については、法に基づく措置である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

消防団長会議への参加、福祉共済事業の申請を実施。
 消防功労者への表彰申請を実施し、50名の受章が決定。また、新設された女性隊幹部に対して被服助成を受けた。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p> <input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない) </p> <p>統合廃止</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						